

横浜市立釜利谷東小学校

9 月 号

# 学校便り

TEL 045-783-9398

FAX 045-701-9817

令和3年9月1日

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

## コロナ禍の夏休みを終えて

校長 皆川 誠

夏休みが終わり、分散登校の中、子どもたちの元気な笑顔が学校に戻ってきました。

さて、今年の夏休みは、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言発出の下、昨年が続いて「我慢の夏」となり、心から楽しめたとは言い難いものであったように思われます。皆さんは、いかがでしたでしょうか。

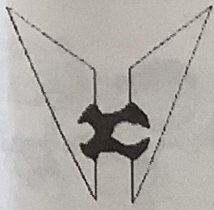
そのような夏休みでしたが、1年延期された東京オリンピックが行われました。開催の是非については、様々なご意見がありましたが、この大会に向けて練習を重ねてきた選手たちが、自国の代表という誇りや重圧を背負いながらも、それぞれの競技で活躍する姿に、私は、朝からテレビの前に釘づけにされてしまいました。考えようによっては、新型コロナの感染拡大によって不要不急の外出を控えるように呼びかけられている中、唯一、夢中になれる時間を与えてくれたのが、この東京オリンピックであったように思います。

日本代表の選手の活躍には目を見張るものがあり、最終的には、金27個、銀14個、銅17個という史上最多のメダル獲得数を記録したことは、皆さんもご存じのことと思います。その中でも、新競技のスケートボードの女子ストリートでは、西矢椋選手が13歳という日本選手史上最年少で金メダルを獲得したことには、特に驚かされました。印象に残ったのは、メダル獲得の場面だけではありません。一緒に競った相手を互いに称え合う姿がいろいろな場面で見られ、感動と共に、スポーツの素晴らしさを教えてもらいました。だからこそ、ついつい夢中にさせられてしまったのかもしれない。

その一方で、SNSを通して選手に対する誹謗中傷があったというニュースも耳にしました。7月の学校だよりでも触れましたが、これは、ネットの負の部分であり、書かれた人はどのような思いをするのかを常に考えなければいけないと思います。無責任な発信により傷ついた人がいたのは、とても残念なことでした。

8月24日からは、東京パラリンピックも始まりました。パラアスリートたちが、自分の体の使い方を工夫し、力の限界に挑む姿は、オリンピックとは違った驚きと感動を私たちに与えてくれています。オリンピック同様に注目したいと思っています。

新型コロナウイルスへの新規感染者数は増加の一途をたどり、緊急事態宣言は9月12日まで延長されました。それに伴い、横浜市からの通知に基づいて、本校では、9月1日(水)は、クラスを2つに分けた午前中2時間ずつの分散登校、9月2日(木)から9月13日(月)は、同じく分散登校による短縮の5時間授業とし、14時20分下校とさせていただきます。そのため、9月2日(木)・3日(金)の授業参観・懇談会は、9月30日(木)・10月1日(金)へ延期とさせていただきます。新型コロナウイルスへの感染状況によっては、今後の予定が変更になることもあります。その際には、改めてご連絡させていただきます。保護者の皆様や地域の皆様、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



横浜市立釜利谷東小学校

10月号

# 学校便り

TEL 045-783-9398

FAX 045-701-9817

令和3年9月30日

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

## 折り返し地点を迎えて

校長 皆川 誠

9月と言うと厳しい残暑が続き、涼しくなるのを、首を長くして待っているというイメージですが、今年は、近年稀にみる涼しい1か月であった気がします。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、9月は分散登校による授業となりました。また、感染拡大防止のために、活動単位は学級単位、給食中は換気を強化するために窓や扉を全て開け、今まで通りに黙食するなど、ガイドラインに基づいた今まで以上に厳しい制約の下で、教育活動を行ってきました。こうした状況下でしたので、特に換気に関して、例年にないこの涼しさはとてありがたいものでした。

いよいよ10月8日（金）に前期の終わりを迎え、10月11日（月）からは後期が始まります。今年度も、8月末の臨時休業と、9月から10月1日までの分散登校のため、前期の授業日数は86日と、予定よりも大幅に少なくなりました。

この分散登校期間中、学校では、児童に一人一台貸与されたタブレット端末を使った学習を行ってその操作に慣れさせるとともに、職員の方では、端末活用時のルール作りとその徹底の仕方について話し合いました。特に、情報モラルについて適切に指導し、徹底させることを、教員間で共通理解を図りました。それがなされぬまま端末を渡してしまうと、他都市で起きたような事案が起こらないとも限りません。また、誹謗中傷などネット上への無責任な書込みに対する罰則強化への動きからも言えるように、これは子どもだけの問題ではありません。仲間外しをしたり悪口を書いたりすることは、タブレット端末がなくても起こりうることです。「してはいけないこと・人を傷つけることはしない」といった「自分を律する態度と人を思いやり大切に作る心」を育てることが土台として必要なのではないかと考えています。それゆえ、本校では、豊かな心の育成を第一に考え、「あいさつ」を最重点に取り組んでおります。

さて、緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置も出されずに済んだので、10月4日（月）からは通常の授業に戻ります。そのため、以前お知らせした通り10月5日（火）と7日（木）に授業参観・懇談会を行います。ただ、宣言や措置は解除されましたが、感染再拡大防止のための対策は必要です。そのため、各家庭1名の来校に限らせていただきます。また、同様に、10月30日（土）に予定しておりますジュニアカップは半日開催とし、昨年同様に児童と保護者のエリアを分け、各家庭2名の来校に限らせていただきます。11月には、6年生の日光修学旅行や5年生の愛川宿泊体験学習が予定されています。これらは状況により変更することがあります。感染再拡大が起こらないことを願い、引き続きご家庭並びに地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。